

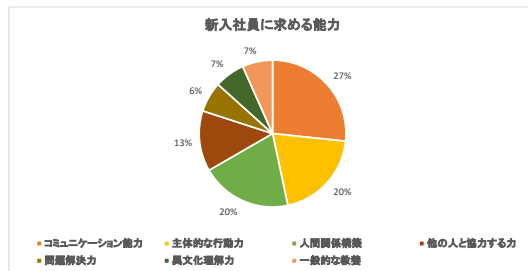
順天堂大学 国際教養学部 卒業生進路先アンケート結果

調査趣旨: 国際教養学部卒業生の在学中の学びが卒業後どのように生かされているのか、学生の就職先様よりご意見を頂戴し、今後の教育改善に活かす。

実施概要: 国際教養学部2019年3月卒業生～2025年3月卒業生進路先5社

実施方法: アンケート実施の上、回答内容について対面にてインタビューを行う

問1.貴社が採用の際に重視しているスキルについて3つまでご選択ください



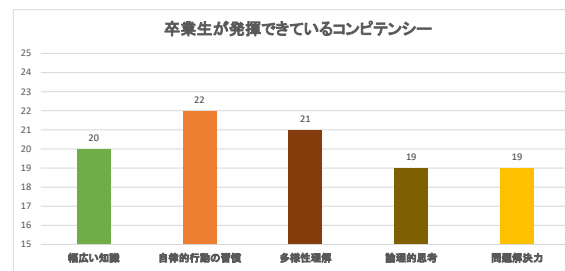
コミュニケーション能力

- ・どの職種に就くにあたって必要となる能力
- ・会社の採用方針として、最重視項目としている
- ・職種上、社内だけでなく、社外の方と協力しながら仕事を進めることが多いため
- ・"一緒に働きたい人"を探すうえで、欠かせない能力だから

主体的な行動力

- ・自ら問題を解決する力は業務に直結する
- ・就職した後も、自ら目標を探して行動・成長する姿勢が必要
- ・ガクチカでも、この点を深掘りし把握することが多い

問2.貴社へ入社した卒業生は以下の能力を社内でどの程度発揮できているでしょうか？



5:非常に発揮している 4:ある程度発揮している 3:どちらとも言えない 2:あまり発揮していない 1:発揮していない

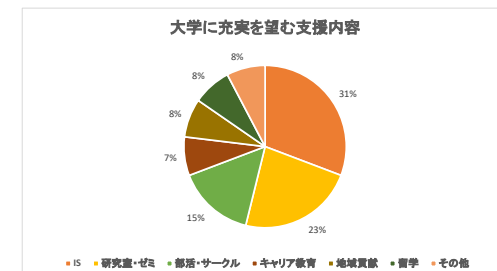
自律的行動の習慣の具体例

- ・何をしなければならぬかを自分で考え、自発的に動くことができる
- ・分からないことがあると、自分から解決しようと周りに助けを求められる
- ・自分の中で優先順位をつけて、しっかりとタスクをこなしている

多様性理解

- ・自分と立場・バックグラウンドの違う相手であっても、しっかりと相手を理解しようとする姿勢がある
- ・あまり偏見を持たず、柔軟な考えができる

問3.今後大学として、どの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか。3つまでご選択ください。



インターンシップ

- ・早期化に拍車がかかり、早期にISでの情報収集が更に重要になってきた
- ・早々に業界を絞るのではなく、様々な業界に触れることが大事
- ・HPやインターネットでは得られない話が聞け、他学生との差別化にも使える

研究室・ゼミ

- ・何か自分の好きなことを見つけ、それに打ち込む経験をしてほしい
- ・組織の一人として行動する機会になる

キャリア教育

- ・大学の授業やイベントで、企業や社会と交流を持つ機会を増やしてほしい
- ・学生はSNSなどの影響で、知識や経験が限定的で狭いように感じる。
- 今の時代だからこそ、多様な価値観に触れる経験を大学が提供して欲しい

調査結果概要: 企業が学生に求める能力としてコミュニケーション能力と主体性が多く挙げられた。理由として、社会人に必要不可欠な能力でありながら、でこれらの能力が不十分な若手社員が多く見受けられるからである。これらの能力を伸ばすためにも、大学には部活動やサークル・ゼミでの活動において、主体的に考える機会や、他者と協力して物事を成し遂げる経験の更なる提供を期待されている。また、近年の就職活動の早期化の影響は大きく、大学に充実を望む支援ではインターンシップの項目が1位となった。3年次の夏季インターンシップが本選考に直結するケースも増加傾向にあり企業・学生双方にとって、インターンシップの重要性が増している。大学が上手く企業と学生を繋ぎ、幅広い業界研究をする機会として活用して欲しいとの意見を頂戴した。情報の取捨選択が必要な中、偏った情報収集をしてしまい、視野や考えを狭めてしまっている学生も多く見受けられる。大学には、多様な知識・価値観に触れる機会の提供も期待されている。